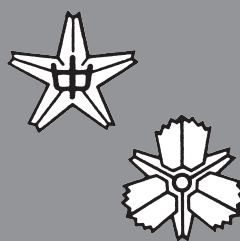




発行所
〒921-8517
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話 (076) 242-0211
FAX (076) 216-5656
2014. 3. 31. 発行
E-mail: issen.knz@hotmail.com



素囃「祝三番叟」で幕開け



一中代表も加わって鏡開き

創立120周年記念パーティ 祝いの席に最高の1200人 ANA ホテル 3 階埋め尽くす

一泉同窓会の平成25年度総会と創立120周年記念パーティは創立記念日の10月15日夜、金沢駅前のANA クラウンプラザホテルで開かれた。会場の3階「鳳の間」からロビー「ホワイエ」、隣接する「瑞雲の間」まで埋め尽くした約1200人の参加者は旧交を温めると同時に、母校のさらなる発展を誓い合った。

2 台目の遠征用バスを寄贈

総会で清水義博会長（泉丘22期）が「皆さんのお陰で有意義な記念事業が実施出来た」と募金に対するお礼を述べ、新屋長二郎校長が120周年のお祝いと母校の近況を報告した。続いて記念事業の一つである2台目の遠征用バスの贈呈式が行われ、深山彬記念事業実行委員長（同11期）が新屋校長に29人乗りバスのゴールデンキーを贈った。この後、中山一郎事務局長（同10期）が前年度決算や今年度予算、記念事業の内容について報告、説明した。

記念パーティは泉丘32期の才鷹一博君と江尻祐子さんが司会を務め、金沢西茶屋街の堅田乃莉さん（同5期）や主計町のひなさん（同48期）、東の唐子さん（同57期）らOBを含

清水 義博 深山 彬 新屋長二郎
同窓会会長 実行委員長 校長



む三茶屋街の芸妓たちが素囃子「祝三番叟」を披露して幕を開け、深山記念事業実行委員長が「120周年に10倍の1200人が集った。過去最高です」と開会の辞を述べた。来賓と一中代表9人を含む24人が鏡開きし、出席者最高齢の93歳・石崎皓三さん（一中45期）の発声で乾杯した。和やかな歓談の合間に一中の歴史映像が映し出され、参加者全員で一中・泉丘の両校歌や応援歌を歌い、感激の中でパーティ実行委員長の鏗隆弘泉丘32期代表がお礼の言葉を述べ、来年度幹事の同33期を代表して今井朋人君が決意表明した。最後に林隆信副会長（同22期）の閉会の辞で節目の年の懇親パーティを終えた。参加者全員に一中・泉丘のシンボル・厳霜碑の由来書と「厳霜烈日」としたためた扇子が記念品として贈られた。



次年度への引き継ぎ式



盛大に120周年記念式典 事業資金の目標達成を報告

金沢一中・泉丘高校の創立120周年記念式典は10月15日、母校啓泉講堂で行われ、在校生、教職員、同窓生ら約1400人が「心身一如」の校是を継承し、さらなる発展へ決意を新たにしました。

新屋長二郎校長が明治26年に開校した石川県尋常中学校を起源とする120年の歩みを振り返り、「グローバル化、高度情報化が進展する中、多くの課題に直面する時代にあって、能動的、革新的に未来を志向し、世界に羽ばたいてほしい」と式辞を述べた。

谷本正憲知事が「県内随一の伝統校であり、台湾の治水事業に偉業を残した八田與一技師ら先輩に続いてほしい」とあいさつ、深山彬一泉創立120周年記念事業実行委員長（泉丘11期）が「多くの同窓生のお陰で2600万円にのぼる事業資金が達成できた」と感謝の言葉を述べた。続いて清水義博一泉同窓会会長（同22期）は「一中、一高、泉丘の卒業生は4万人弱にのぼる。心身一如の教育理念の下での学びはゆるぎなく、自由な文化が息づき多くの人材を輩出した。120周年を機にこの時代をどのように生きるかを考える機会にしたい」と後輩たちに呼びかけ、OBの下沢佳充県議会議長（同31期）は「良い意味でエリート意識を持ってリーダーシップをとることが大事。同窓の人間関係がプラスになる。大志を持って頑張ってほしい」と祝辞を述べた。

この後、清水会長が遠征用バス2台、ワゴン車1台、電子掲示板一式、吹奏楽部用楽器13点と「金沢一中・泉丘高校発祥の地」での

記念碑建立など記念事業を紹介、深山委員長が110周年後の歴代校長6氏に感謝状、10年以上の永年勤続者33人に表彰状を贈った＝写真＝。最後に前期生徒会会長の桐谷武明君が「金沢一中の伝統を受け継ぎ、偉大な先輩たちを超えていきたい」と決意表明した。吹奏楽部がお礼の記念演奏を披露した。

鷺田前阪大総長が記念講演

引き続き前大阪大学総長で、大谷大学文学部教授、せんだいメディアテーク館長の鷺田清一氏が「学ぶことと挫けること」と題して記念講演した。（講演要旨は5ページに掲載）



120周年記念事業の第一弾 電子掲示板などを寄贈

創立120周年記念事業の第一弾として前期始業式が行われた4月8日、三つの事業の目録を贈呈した。

2、3年生760人の前で林隆信一泉同窓会副会長（泉丘22期）が電子掲示板一式（530万円）と吹奏楽部用楽器一式（400万円）、部活動用ワゴン車一台（250万円）の記念品寄贈を発表、新屋長二郎校長に目録を贈呈した。

続いて啓泉講堂入り口で電子掲示板の可動式が行われ、新屋校長がスイッチを入れると後ろのディスプレイに、この日午後から行われた入学式の歓迎画面がきれいに映し出された＝写真＝。60インチから46インチの電子掲示板が校内10箇所に設置され、授業時間や教室変更などの告知から緊急時の連絡などに利用される。

吹奏楽器はチューバやホルンなど13点、ワゴン車は10人乗りで体育部だけでなく文化部の遠征にも便利と喜ばれている。

一泉創立120周年記念事業の第2弾、「金沢一中・泉丘高校発祥の地記念碑」の除幕式が6月15日、金沢市本町1丁目の真宗大谷派西福寺で行われ、同窓生ら約30人が120年の歩みを振り返り、さらなる発展を願った。

小雨のため同寺本堂で式典を行い、記念事業実行委員会の深山彬委員長（泉丘11期）が泉丘高校は明治26年、同寺敷地にあった私立大谷尋常中学校後に石川県尋常中学校として呱呱の声をあげた—と今日までの校史を紹介。これを機に4万同窓生が「心身一如」の伝統を重んじ、母校発展への想いを一つにできれば幸いとあいさつした。

続いて清水義博一泉同窓会会長（同22期）から、碑の建立を快く引き受けていただいた同寺の三輪谷恩住職（同17期）に対し、碑の永代管理費として20万円の目録を渡した。

幸い雨も上がって除幕式は予定通り碑の前で行われた。左の綱には深山実行委員長、清水同窓会会長、最年長出席者の片岡茂太郎さん（一中46期）。右は新屋長二郎校長、桐谷武明生徒会長に三輪谷住職の6人。一、



一泉発祥の西福寺境内 記念碑を建て除幕式

二の三の掛け声で幕が外れ見事な碑が現れた。碑は高さ1.8^{メートル}、太さ35^{センチメートル}×30^{センチメートル}の白御影石製で「金沢一中・泉丘高校発祥の地」の文字の上に一中と泉丘の校章が彫られている＝写真＝。工事は橋爪石材工業（泉丘24期の橋爪良三さん経営）、会場設営はホワイト・バードセンター（通信22期の加藤次男さん経営）が担当した。

記念の美術展もにぎわう

一泉同窓会と一泉桜美会共催の創立120周年記念美術展が、10月8日から14日まで金沢21世紀美術館で開かれ、同窓生や一般県民、市民ら3500人が鑑賞に訪れてにぎわった。母校の節目の年を祝い今回は日頃活躍中の会員47人に加え、OBの美術愛好家43人、現役の美術、書道部員45人、顧問の先生2人の総勢137人の作品196点が展示された。

最高齢の村田尚一さん（一中39期、99歳）は白馬岳やカリブ海などを描いたスケールの大きな油絵3点を出品、元石川一陽会代表・判三教さん（泉丘4期）の油絵「秋の夕（サロベツ湿原）」や日展作家・後出邦子さん（同11期）の同「閑日」が人目を引いた。

渋谷亮治元会長が死去



一泉同窓会の渋谷亮治元会長（一中54期）が1月5日、死去した。84歳。渋谷工業取締役相談役、金沢経済同友会前代表幹事を務め、8日に同社で営まれた葬儀・告別式には約3千人が参列、故人をしのんだ。

渋谷氏は昭和60年10月、第3代一泉同窓会会長に就任、5期10年を節目に平成7年10月退任された。この間、同5年には故米谷半平実行委員長（同50期）とのコンビで創立100周年の記念事業を実施、一泉基金の創設など同窓会の諸活動、発展に大きく貢献された。

北村労務会計事務所

税理士 北村 具^{とも ひで}穎（泉丘8期）
税理士 北村 彰^{あき ひで}英（泉丘36期）

〒920-0953 金沢市涌波2-14-10
TEL (076) 264-0101 FAX (076) 264-0103

橋場会計事務所

税理士 橋場 覺（泉丘11期）
社会保険労務士

〒920-0067 金沢市二宮町12-3
TEL (076) 264-1225 (代)
FAX (076) 264-1227

公認会計士 松本 義之（泉丘14期）
税理士

〒921-8173 金沢市円光寺2-16-1
TEL (076) 247-7783 FAX (076) 247-4708
E-mail matsumoto.ysyk@gmail.com

ゴルフ大会 神田さん(泉丘11期)が優勝

一泉創立120周年記念ゴルフ大会が10月16日、片山津ゴルフ倶楽部の加賀コース(18ホール、パー72)で行われ、神田忠さん(泉丘11期)＝写真＝がアウト42、イン43、グロス85、ハンディ14.4、ネット70.6で優勝、併せてベストグロス賞も獲得した。この日は朝から台風26号の影響で風雨が強かったが、集った73人が予定通り8時半にアウト、インからスタートした。



午後3時半から行われた表彰式で清水義博一泉同窓会会長(22期)が「どんな状況でも果敢に挑戦する一泉魂が発揮された大会だった」とあいさつ、越田喜美子さんと野尻八重子さん(いずれも10期)の女性2人には特別賞(レディース賞)が贈られた。

上位入賞は次の皆さん。◆準優勝 小杉誠一(17期) ◆3位 山森閏(22期) ◆4位 塩谷真一郎(37期) ◆5位 加藤治(22期)

八田先輩の偉大さ再確認

同窓生ら62人が台湾旅行

創立120周年記念「八田與一大先輩の偉業を訪ねる台湾4日間の旅」は11月15日に小松空港を出発、18日帰国の日程で行われた。参加した一泉同窓生やその家族ら62人は連日の



好天に恵まれて楽しい旅を続け、スケールの大きな烏山頭ダムを目の当たりにして八田先輩の偉大さを再確認した。

第1日目の15日は、一足先に台北入りした羽田と関空発組の8人は郊外の九份などを見物した。2日目の16日は新幹線で嘉義駅へ向かい、正午前に烏山頭ダムに着いた。ダムサイトの八田夫妻の墓と記念像に清水義博会長(泉丘22期)と蚊谷八郎前会長(同14期)が献花＝写真左下＝、記念館や記念公園に復元された宿舍など時間をかけて見学した。午後



は台南市内観光を行ったが、清水会長ら4人は一行と別れて顔純左台南市副市長を表敬訪問、両市の一層の友好促進を願う山野之義金沢市長(同32期)の親書を渡した。台南市のホテルでは改めて小松、羽田、関空組の合同懇親会が開かれた。宴会場に泉丘の校旗を飾り、自己紹介や高校時代の思い出話などでにぎやかに過し、最後に校歌を斉唱した。

3日目の17日は再び新幹線で台北市へ移動、故宮博物院＝写真右中＝見学や市内観光と免税店での買い物を楽しんだ。さらに夕食後は士林夜市散策と台湾最後の夜を満喫した。最終日の18日は中正記念堂など台北市内観光を継続、母校と交流している台湾一の進学校・建国高級中学校もバスの車窓から見学、同日夜には全員無事に小松などへ戻った。

森下昭夫税理士事務所

税理士 森下 昭夫(泉丘14期)
行政書士

〒924-0819 白山市青葉台1-26-3
TEL(076)274-2728 FAX(076)274-2729
E-mail morisita@tkcnf.or.jp
URL <http://www.morisitakaikai.com>

板谷敏徳税理士事務所

税理士 板谷 敏徳(泉丘16期)

〒920-0903 金沢市博労町68番地
岡田レンタルビル3F
TEL(076)255-1843
FAX(076)255-1842

野村会計事務所

税理士 野村 精一(泉丘16期)

〒921-8116 金沢市泉野出町4-1-16
TEL(076)245-8050
FAX(076)245-8060

「学ぶことと挫けること」

今の10代は不安で一杯のときである。一つは自分の将来に対する不安であり、もう一つは友達のいないことから来る不安である。前者は就労状況の悪さから来ている。なかなか就職が決まらず、大企業でも統合や解散、解雇など先が見えない不安がある。後者は資格社会や選別社会の競争で友達など作っておれない状況が影響しているようだ。

高校では生きるための軸学べ

高校では生きる、生き延びる、生きながらえる、生き抜いていくための軸となるものを学ぶ所だが、進学校であれば受験の話ばかりになって、本当に学ぶべきものを知ること、身につけることをなんとなく先送りしているのではなかろうか。

私はこれをやる資格があるという社会は、少しきつく言えば人を生涯選別していく社会とも言える。選別では当然のことながら不合格という形で選ばれない人を沢山生む。自分にしか出来ないことと自問自答すればノー。だから友達関係にもピリピリするのだ。自分がここにいる意味は何か、本当にここに居ていいのだろうか、そんな資格があるのだろうか—という問いはきつ過ぎる。現実には確かに試験が隅々まで浸透している選別社会だが、実際はもう少しルーズというか、いい加減に動いていることを知ってほしい。

では、私たちはこれからの社会の中でどういう力を身に付けていったらいいのだろうか。高校で学ぶべきことは、決して高校3年間のことではないのだ。これから平均して65年間みんなが生きていくときに、何を軸として生

きていくのかという軸を見つけることが大事なのだ。それが学ぶということだ。それは何千年にもわた

って日本の社会で通

学びは壊れと挫かれから得る

学ぶということは、一度自分が壊れることであり自分が壊れるという経験なしには起こり得ない。だから、スイスイとうまくいくよりも、何度も挫かれ、自分がバラバラになることが必要だ。そしてもっと大事で難しいことは先達者の話を聞いたとき、整合的で筋が通っていても何かうそ臭い話だとか、難し過ぎてよく理解できないが何かすごそうな話だとの判断をビシッと出来なければいけない。

また、絶対に守らねばならないこと、あってもいいけど無くてもいいもの、端的に無くてもいいもの、絶対にあってはいけないものと、物事を四つのカテゴリーに仕分けていく判断力も必要だ。

少子高齢化で社会が縮小する中で、誰かにダメージが集中しないよう、後方から全体をケアするまなざしを持った人が必要であり、助け合って社会やみんなの命を守ってくれる人こそ社会のリーダーになるべき人である。



全体ケアのまなざし持て

前阪大総長
驚田清一

120周年講演で諭す

登記・測量 橋爪事務所

司法書士 橋爪 信敏 (泉丘16期)

事務所

〒920-0338 金沢市金石北1-7-3
TEL (076) 267-7101 FAX (076) 267-7102
E-mail daisyo.n-hashizume@nifty.com

杉本会計事務所
株式会社 大手門経営

税理士 杉本 和恵 (泉丘19期)
代表取締役

〒920-0910 金沢市下新町6-24
(旧尾張町2丁目)
TEL (076) 263-1511
FAX (076) 263-1585

税理士法人 武蔵会計事務所

税理士 中山 伸洋 (泉丘20期)

<事務所> 〒920-0855 金沢市武蔵町15-1
TEL (076) 260-2533 FAX (076) 260-2550
E-mail musashi-office@piano.ocn.ne.jp
<小松事務所> 〒923-0811 小松市白江町口84-6
TEL (0761) 46-5109 FAX (0761) 46-5173

事業費募金は27,456,283円

創立120周年関係費の中間決算

名簿注文も目標オーバー

一泉創立120周年記念事業関係中間決算の監査が平成26年2月20日、一泉同窓会事務局で高木清一郎（泉丘13期）と澤田力雄（同15期）の両監事で行われ、収支決算書、諸帳簿、証拠書類を監査、適正と認められた。今年5月の一泉同窓会代表委員会の承認を得て正式決算とする。

収入、支出の総額は67,405,422円。収入のうち記念事業に対する募金は4,797人から寄せられ、27,456,283円と目標額を1,456,283円上回った。また、10年ぶりに制作した会員名簿の注文は2,358冊、9,432,000円（発送費含む）と、2,600冊の制作費をクリアした。さらに公益信託基金の残高11,229,272円が周年事業費に利用することで解約でき、10年間に積み立てた1,550万円強も大いに役立った。

石巻市の病院 再建に50万円

支出では遠征用バスの2台購入をはじめ電子掲示板の設置、吹奏楽部への楽器寄贈など予定した事業のほかに10人乗りワゴン車1台を寄贈した。

また、特別支出として宮城県石巻市へ500,273円を寄贈した。

これは平成23年3月の東日本大震災の支援事業として同市の市民病院眼科仮診療室など設置のために同窓会員から募った義援金の残金にプラス、ちょうど100万円にしてこの4月から工事が始まった同病院の再建資金として寄贈したもの。

収入合計から各種事業費、必要経費などを差し引いた余剰金17,857,140円は130周年準備金として積み立てる。

120周年記念事業関係の中間決算 26年2月20日現在

収 入

(単位・円)

収入項目	収入予算	収入仮決算	備 考
周年事業準備金	15,527,420	15,534,318	
バス購入積立金	3,300,000	3,316,160	
記念事業募金	26,000,000	27,456,283	+1,456,283円
名簿代（発送費含む）	9,360,000	9,432,000	2,600冊制作、注文2,358冊
公益信託基金残金解約	11,229,272	11,229,272	
利 息	3,308	3,389	
そ の 他	0	434,000	会合会費など
合 計	65,420,000	67,405,422	

支 出

(単位・円)

支出項目	支出予算	支出仮決算	備 考
遠征用バス前倒し購入	6,730,000	6,730,000	
遠征用バス買い替え購入	6,270,000	5,900,000	
10人乗りワゴン車購入	0	2,500,000	
電子掲示板の設置	5,000,000	5,200,000	
吹奏楽部用楽器購入	4,000,000	4,000,000	
記 念 式 典	1,000,000	0	
記 念 講 演 会	1,000,000	0	
発祥の地記念碑建立	1,000,000	1,283,850	
記 念 行 事 補 助	4,000,000	1,678,783	
印 刷 費	1,300,000	1,249,500	振込用紙、情報保護シールなど
通 信 費	5,000,000	4,349,678	振込用紙など32,000枚発送
広 告 費	500,000	525,000	
名簿制作・発送費	9,360,000	9,283,340	制作費8,085,840円、発送費1,177,500円、前名簿廃棄費20,000円
映像資料のデジタル化	1,000,000	1,344,000	VHSビデオ130点など合計1,400余点
学校教育設備への助成	2,000,000	4,000,000	
事 務 費	0	316,033	
会 合 費	500,000	687,825	
そ の 他	0	500,273	石巻市への震災義援金
余剰金（130周年準備金）	16,760,000	17,857,140	
合 計	65,420,000	67,405,422	

雨の中での慰霊祭に40人

平成25年度の一泉同窓会物故者慰霊祭が10月15日午後、母校の厳霜碑前で折からの雨にもかかわらず、同窓生や学校関係者ら40人が参列してしめやかに行われた。

石浦神社の長谷吉慶宮司が祝詞を奏上、清水義博会長（泉丘22期）＝写真＝や蚊谷八郎前会長（同14期）、新屋長二郎校長、鏑隆弘120周年記念パーティ実行委員長（同32期）ら全員が玉串を捧げて亡き先輩や亡き師、亡き級友の霊を慰めた。

一中卒業生の参列者が年々少なくなっているが、太田重雄さん（一中50期）、神戸市の水落出さん（同51期）、西野貞雄さん（同52期）、中橋壽雄さん（同55期）らが今年も元気な姿を見せられた。



地区同窓会だより



地酒や治部煮、笹寿司に舌鼓 関東一泉総会 390人集う

55回目となる関東一泉同窓会の平成25年度総会・懇親会が11月9日、東京・新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。「ふるさとの今を知ろう～気がねせんと来まっしね～」のテーマのもと、集った約390人が母校の創立120周年を祝うと共に世代を超えて交流の輪を広めた。

総会で新谷修会長（泉丘11期）が今年の幹事期・泉丘34期の努力に感謝の言葉を送り、120周年の歴史に触れ「母校のさらなる発展と有能な後輩たちの今後に期待したい」とあいさつ、金沢から出席の清水義博一泉同窓会会長（同22期）と新屋長二郎校長が10月15日の120周年記念式典や1200人も集った記念パーティの様子や母校の現況について報告した。

懇親会は幹事期の林晃夫君と中里二美さんの司会で幕を開け、最年長で95歳の古澤英雄さん（一中42期）の発声で酒宴に入った。会場には13種の地酒や治部煮、笹寿司などふるさとの味が振る舞われ、恒例のクイズも行われて和気あいあい。エンディングでは一中・泉丘の校歌を斉唱＝写真＝、幹事引継ぎで高橋渉34期代表がお礼を述べ、竹中昭夫35期代表が来年も楽しい集いにしたいと決意表明した。

予定の2時間半がアッと言う間に過ぎ、山岸章（同17期）関東一泉同窓会副会長の閉会の辞で散会となったが、久々の再会のため二次会に行くグループも多かった。

前川 栄 司法書士事務所

司法書士 前川 栄（泉丘20期）

〒921-8014 金沢市糸田 1-43
TEL (076) 291-4030
FAX (076) 291-4224

米尾 会計事務所

税理士 米尾 守人（泉丘20期）
行政書士

事務所 〒921-8034 金沢市泉野町6-9-4
TEL (076) 243-1770(代)
FAX (076) 243-1077

株式会社 柏野経営

http: //www.kashiwano.co.jp/

代表取締役 公認会計士 柏野 博英（泉丘21期）

〒921-8022 金沢市中村町26番43号
TEL 076-243-7222 FAX 076-243-7709

故長岡さんに黙祷捧げる

関西総会 91人が功績に感謝

関西一泉同窓会の第33回総会が6月1日午後、大阪市中央区のパノラマスカイレストラン・アサヒで91人が参加して開かれた。金沢からは清水義博本部同窓会会長（泉丘22期）、新屋長二郎校長、恩師の松本彰先生（同23期）ら7人が出席したほか、今秋の一泉創立120



周年記念パーティを担当する泉丘32期の森正樹君ら2人も特別参加して「秋にはぜひ金沢へ」とPRした。

会は車和夫さん（同17期）が司会を務め、今年1月に94歳で亡くなった長岡寛厚さん（一中43期）の冥福を祈って黙祷した。長岡さんは「同窓会への出席は私の生きがい」と、この4年間、10万円の寄贈を続けていた。続いて辻本初枝副会長（泉丘4期）が歓迎のあいさつを述べ、清水本部長、新屋校長が創立120周年記念事業や母校の様子を報告した。

懇親会は町田宏一さん（一中57期）の乾杯の音頭で始まり、金沢の銘菓が当たるラッキープレゼントで一段と盛り上がった。最後に一中・泉丘の両校歌を高らかに歌って＝写真＝宴を閉じた。今回も片瀬貴文会長（一中55期）から全員に土産として松任の「あんころ」が渡された。

二次会は北新地の「珠洲」（松尾ゆきえさ

ん経営・通信12期）で行われ、金沢組も出席してもう一度盛り上がった。

世代を超え63人が交流

松任一泉 90代から20代まで

松任一泉同窓会の平成25年度総会・懇親会が11月9日、グランドホテル白山で開かれ、90代の中 OB を筆頭に一中と泉丘の同窓生63人が出席した。

総会では青木桂生会長（泉丘13期）のあいさつの後、24年度決算と25年度予算案を承認、引き続いて行われた講演会で、元北陸放送役員の益谷英彦氏が「岡本桂次郎 朝鮮半島に電信・電話を敷いた男」と題し、青木家にゆかりのある岡本桂次郎氏の業績や当時の日本や朝鮮半島の様子について解説した。

懇親会の冒頭に来賓紹介が行われ、一泉同窓会の新村康二副会長（同18期）が祝辞と120周年記念事業への協力についてお礼を述べ、宮本雅春副校長が母校の取り組みや生徒の近



況について報告した。本屋操副会長（同13期）の乾杯の音頭で酒宴に移り、恒例のビンゴゲームを交えながら和やかな雰囲気の中で世代を超えて同窓の輪を広めた。最後に一中・泉丘の両校歌を斉唱し＝写真＝、福田裕副会長（同18期）の中締めで会のさらなる発展と再会を誓って散会した。

（米田和功＝同44期・記）

皆川容徳司法書士事務所

司法書士 皆川 容徳（泉丘21期）

〒920-0364 金沢市松島2-6
TEL (076) 240-7733
FAX (076) 240-7734

青森 稲村合同事務所

司法書士 青森 達彦（泉丘23期）

事務所
〒921-8013 金沢市新神田4-4-11
TEL (076) 291-1021 FAX (076) 291-1019

中村・土肥税理士法人

代表社員 税理士 中村 雅紀（泉丘23期）

〒921-8173 金沢市円光寺2-345
サンピア泉ヶ丘ビル2階A-2号
TEL (076) 241-3094 FAX (076) 241-2077



会長に安田さん(泉丘9期)選出 2年ぶりに野々市一泉開く

平成25年の野々市一泉同窓会が6月15日、同市の情報交流館カメラで開かれた。2年に一度の開催で60人が出席、市勢発展へ寄与することを誓い合った＝写真＝。

田多野和彦事務局長(泉丘15期)が司会を務め、役員改選で新会長に安田彦三さん(同9期)、新監事に喜多紀子さん(同20期)を選出した。安田新会長は「野々市一泉同窓会が発足して30年。この間、野々市町が市へと大きく繁栄してきた。今後も会員各位が地域発展に寄与されるよう期待したい」と述べ、来賓の清水義博本部長(同22期)と新屋長二郎校長が祝辞と母校の近況を報告した。

泉丘の校歌を斉唱、最年少出席者の河村有真さん(同61期)の乾杯の音頭で懇親会が始まった。地域を同じくする先輩と後輩、親友同士の久しぶりの顔合わせに話が弾み、あっという間に1時間半が過ぎ、有志の旗振りで応援歌を歌い、中村伸一郎副会長(同4期)の万歳三唱で名残を惜しみながら散会した。

総会・懇親会に先立って細川文さん(同43期)のチェロ・ミニコンサートが行われ、「おくりびと(久石譲)」など優雅で美しい音色に魅せられた出席者から大きな拍手が送られた。

(押田浩三＝泉丘38期・記)

三馬一泉は25年連続開催

三馬一泉同志会の総会・懇親会が8月2日夜、金沢市野町4丁目の割烹料亭「むとう」で開かれた。25年連続の開催で出席した11人＝写真＝は、地域の同窓生の輪を大切にしていってさらなる広がりを誓い合った。

総会では大西俊治会長(泉丘7期)があいさつ、最年長の平松昌司さん(一中49期)が乾杯の音頭を取り、懇親の宴となった。杯を重ねるうちに北実さん(泉丘12期)の絶妙な話術で昔話に花が咲き、最後に角信平さん(同5期)が「次回再会までを同志増員活動期間にしよう」と提案、一本締めで散会した。

(北島敏男＝泉丘8期・記)



額・扇台地区一泉会に改称

額・扇台地区一泉会の25年度例会が9月9日、金沢国際ホテルで21人(男性16人、女5人)が出席して開かれた。6年前に発足した光が丘一泉会の参加者増のため今年度から名称を変更したもの。中本哲夫さん(泉丘15期)、八日市屋俊文さん(同20期)、中野一政さん(同24期)が新たに参加、早速地域拡大の効果があつた。岡田喜昭世話人(同13期)があいさつして和やかに懇談、一中・泉丘の校歌を斉唱、石田豊さん(一中51期)の中締めで散会した。

(内田靖夫＝泉丘10期・記)

合同行政書士事務所

行政書士 西山 忠(泉丘24期)

事務所

〒921-8001 金沢市高島1-392
TEL(076)291-8626 FAX(076)291-8627
URL: <http://godojimu.net>

中部経営・辻・本郷 税理士法人

理事長 村尾 実(泉丘24期)

〒921-8025 金沢市増泉2-7-37
TEL(076)225-5588
FAX(076)243-6222

税理士・社会保険労務士 雲野照正事務所

雲野 照正(泉丘25期)

〒920-0867 金沢市長土堀1-15-2
TEL076-222-2228 FAX076-222-2229

一中43期 中川松雄さんの思い出

私たち金沢一中第43期生は昭和6年4月に入学、同11年3月に卒業した。定員は200人だが前年度からの残留者が何人かいた。日本の歴史的な変動期を生きてきてその間、多くの仲間は世を去り、私の親しかった仲間は全員なくなった。

「クラブ」で自由と自治を楽しむ

日本人がはじめてデモクラシーに目覚めたのが大正期であった。私たちの入学した昭和6年という年は今から考えると、その大正デモクラシーの最後の年である。中学生の多くは「クラブ」と称する結社をつくり、そこで学校を離れて自由と自治とを楽しんだ。はじめは学校側もクラブの価値を認めて奨励していたようだが、次第にその害が目立ってきた。

間もなくクラブの実態を衆目にさらす事件が起こった。尾山神社裏の甚右衛門坂下あたりで一中3年生が金中生に刺殺された。やよいクラブと鎧袖クラブの抗争だったが、どちらがどのクラブかは知らない。尾山神社春祭りの夜であった。この事件で警察の取締りが厳しくなり、クラブは完全に命脈を絶たれた。

入学時の校長は伊藤允美先生だった。昭和のはじめの一中は学力が低下、上級学校への進学もパツとしなかったのを憂えた県知事が、三顧の礼で愛知一中の校長だった伊藤氏を迎えたのだと聞いていた。

いろいろな改革が行われたのであろう。最後に校長は自分の方針に反対する教師や意のままにならぬ教師を罷免した。私が3年の時だった。教練の神尾護一郎先生が罷免された。

その日の朝礼で校長は神尾先生が一身上の都合で辞める。何とも惜しいと褒め称えた。その後壇上に立った神尾先生は「私は辞めるつもりは無いが、無理に辞めさせられた」と実情を打ち明けた。

その時はそのまま終わったが、次に地理の先生が同様に罷免された。ここで4・5年生の有志が動き出した。その日は1限が中間試験の第1日目だった。朝礼が終わると当番の5年生が壇に登って教室に入る号令を下す。その朝の当番は「1、2年生は教室に向かって前進！3年生以上はその場で座れ！」と号令して試験拒否のストライキに出た。

4、5年生は全員座ったが3年生の中には座らないものが何人もいた。私のクラスの組

教師の罷免でストライキ 級友、生徒の本分でないと反対

長岡田秀雄君もその一人だった。彼は立ったまま叫んだ。「俺は座らない。殴るなら殴れ。たとえ先生に問題があってもストライキは生徒の本分ではない」と。偉い奴だと思った。彼は他の立ったままの生徒と共に教室へ去った。彼は卒業後、四高から東大に進み高等文官試験にも通って官吏として当時の鉄道省に務めた。惜しくも若い間に病没した。当時下関駅長だったと聞いている。

大陸への軍事侵略に批判の声も

ストライキは数日続き、同窓会が仲介に乗り出して終了した。首謀の5年生数人が退学処分になった。校長も責任を取って退職した。私はこの間、大そう楽しかった。不穏当な言葉だが、それまで経験したことのない楽しさだった。4、5年は四高受験のため勉強し

tax attorney, accountant
中西良彦税理士事務所

税理士 中西 良彦 (泉丘25期)

〒924-0864 石川県白山市馬場2丁目35番地
ファミーユ桜通104
TEL076-274-0248 FAX076-274-3254
E-mail:nknshta@quartz.ocn.ne.jp

八木税務会計事務所

税理士 八木 俊徳 (泉丘28期)

〒920-0054 金沢市若宮1-184 USビル2F
TEL (076) 223-6155(代) FAX (076) 223-6156
http://www.yagi-zeimu.com/

塚崎公認会計士事務所

公認会計士 税理士 塚崎 俊博 (泉丘29期)

〒920-0944 金沢市三口新町1-3-3
TEL (076) 263-8092
FAX (076) 263-7701

が、そんな生ぬるい勉強で四高に合格できる訳がないことを浪人を重ねてやっと四高に入学して痛感した。

大陸での日本の軍事侵略はこの間進んでいた。満州国の独立として中国からもぎ取り、国民も熱に浮かされたようになっていた。その中でクラスメートの溪内浩君は侵略と叫んではばからなかった。彼は5年生になって発病、卒業直前に病没した。

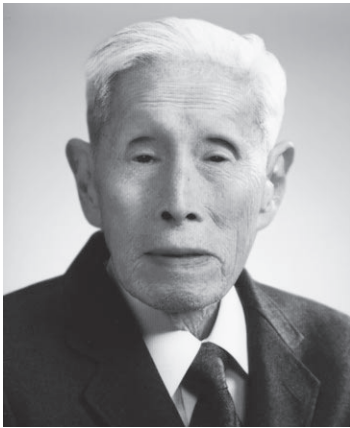
卒業試験の最中に2・26事件

最後の学期の昭和11年が明けた。正月休みが終わると全国の上級学校の入試が始まり、それが一段落ついた2月26日に卒業試験が行われた。その朝、異常なものを感じていた。ラジオはまったく何も言わず、新聞が報ずるまで兵乱の勃発は分からなかった。放送局は反乱軍に占領されていた。何人もの重臣が殺され、岡田首相は奇跡的に逃れたことは間もなく知ったが、私たちの卒業試験はこの2・26事件の経過と共だった。そして3月3日、卒業式で校門を後にした。

4年生の秋に猛台風が本州を貫いた。室戸台風である。大阪付近ではいくつもの学校が倒壊し、多くの死者が出た。それによって一中の改築が急速に具体化、私の5年在学中に現在の地で地鎮祭が行われた。

《編集注》中川松雄さんは平成25年12月3日に亡くなられた。開業医、享年95歳。この原稿は8月に入院中のベッドで書かれたもので、長男の中川恒雄さん（泉丘18期）が「親父から預かった」として11月21日に一泉同窓会事務局に持ち込まれた。冒頭に「黄泉の国への旅立ちを前に、ある一中生の思い出」と記されていた。（合掌）

中川松雄さんの遺影



約60年前に作られた「石川県警察歌」が復活する。かつて録音用に歌った泉丘高合唱部OBの安野善隆さん（10期）＝写真＝がレコードを聞いたことが機となり、収録レコードから譜面がおこされ、四部合唱用の準備が進んでいる。

「石川県警察史」によると、県警の歌は昭和29年に県警発足を記念して企画された。一般公募の歌詞は当時鶴来署勤務だった梅木勝吉さんが選ばれ、作曲は泉丘高の安藤芳亮音楽教諭が担当した。31年にNHK金沢放送局のスタジオで収録、レコード化され、合唱部員だった2年生の安野さんと3年生の出野（旧姓桜井）わか子さんが安藤教諭のピアノ伴奏で歌った。

安野さん^{（泉丘10期）}が歌った県警歌 60年ぶりに譜面復活



レコードは関係者に配られたが、現在はほとんど残っておらず、その後、県警にも新しい歌が出来ていつしか忘れ去られていった。ところが昨年、作詞した梅木さんの息子勲夫さんが金沢市尾張町2丁目の金沢蓄音機館にSP盤のレコードを寄贈、レーベルに名前が載っていることから安野さんに知らせが届いた。

「いつか合唱部のOBと現役部員が一緒になって歌いたい」。安野さんの願いをOB仲間の上山優さん（34期）が引き受けて譜面をおこした。次の四部合唱用譜面は専門性が要求される。顧問の外泰子教諭が音大に進んだ教え子に相談している。安野さんに吉報が届く日はそんなに遠くない。

一中・泉丘 各期の集い

◆在京一中46期が3人で同期会

一中46期の在京同期会が4月29日、東京都町田市の「南国酒寮」



で開かれた。当初20人以上が出席していた会も年々減りで、顔を見せたのは写真の左から順に長澤剛正君、私・村上淳男、松井薫君の3人だけ。それでも1年ぶりの再会なので近況などを語り合い、10月15日の一泉創立120周年記念同窓会には揃って金沢へ出かけようと誓いあった。(村上淳男・記)

◆今年も関東一中50期の同窓会開く

関東在住の金沢一中50期同窓会が例年の如く霞が関ビルの東海大学校友会館で9月18日に開かれた。今年はいつも顔を見せられる小中伸夫さんが8月13日に白血病で急逝され、誠に残念でありご冥福を祈った。

当日の出席者は青地龍男、川北博、伊藤正千代、田中長、堀吉彦、安田建夫、浅井敏郎の7人＝写真＝。それぞれ身体に何がしかの障害があるが、みんな頑張って同窓会に出て来られることを嬉しく思い喜び合った。今年



は母校の創立120周年で10月15日には記念式典や記念パーティが行われるが、だれも参加できそうに無いので大盛況となるように祈った。(浅井敏郎・記)

◆一櫻会、14人参加で最後の同窓会

金沢一中51期・一櫻会65周年の歴史に幕を降ろす最後の同窓会が5月22日、「金沢白鳥路ホテル」一泊で開かれた＝写真＝。参加者は関東2人、関西3人、中部1人、地元8人の計14人で、会員と幹事が融合一体となって65年もの間同窓会を継承・維持してきた役割への充足感に満ちているように思えた。

懇親会は例年通り中野利男君の司会で進んだ。初めに私・園部哲三幹事が歓迎のあいさつをし、続いて中野幹事が昨年の同窓会後に亡くなった9人の級友の報告をし、戦没者を含めた151人の物故者に黙祷を捧げ、朴木春夫君の乾杯で懇談に入った。歓談途中に園部



幹事が一泉創立120周年の記念式やパーティについて報告、一櫻会閉会後の交流のあり方について提案があり、協議の結果「毎月11日を交流の日」として自由参加の昼食会を持つことになった。その後は終始和やかな談笑が続き、最後に校歌・応援歌を合唱して閉会した。翌日は朝食後、自由解散したが、幕引きの同窓会として実のある内容で終章を飾ることが出来たと思う。(園部哲三・記)

北村会計事務所

未来の知恵を育む

税理士 北村 尚也 (泉丘30期)

〒921-8115 金沢市長坂台1-38 山物ビル3F
TEL (076) 243-5568(代) FAX (076) 243-5488
E-mail kitamura-hisanari@tkcnf.or.jp
URL <http://www.kitamura-kaikei.net>

黒保正幸税理士事務所

税理士 黒保 正幸 (泉丘30期)

〒921-8815 野々市市本町5-14-1
TEL (076) 294-2003
FAX (076) 294-2004

地藤・鈴木税理士事務所

税理士 鈴木 浩史 (泉丘30期)

〒920-0901 金沢市彦三町1-13-41
TEL (076) 261-3245 FAX (076) 261-3200
URL <http://www.zeimusoudansitu.com>
E-mail info@zeimusoudansitu.com

◆泉丘4期が傘寿記念同窓会

泉丘4期の傘寿記念同窓会が10月16日、金沢エクセルホテル東急で開かれた。「簡素化して継続」の声が多く、初めての日帰り同窓会とした結果、男28人、女29人の57人が出席、前回を上回る盛況となった。

藤井修副会長の司会で物故者135人に黙祷を捧げ、校歌を斉唱した。次いで山崎昭一郎会長が歓迎のあいさつ、関東代表の国本明君が地区の近況などを報告した。

記念写真に納まった後＝写真＝、金子豊君の司会で懇親会が始まった。まずは中村外茂治君が謡曲「養老」を披露、長田八栄子さんの乾杯の音頭で酒宴に入り、会場は一気に賑わった。和装の長谷川芳子さんの新舞踊、恒例となった高木祝子さんの手品など次々と余興が出て、笑顔の中で予定の2時間余が過ぎ、名残を惜しんで散会した。（酒井浩・記）



◆関東の泉丘4期生は昼食会

泉丘4期関東地区の25年度同期会は9月25日、東京・渋谷区の恵比寿ガーデンプレイス38階の「吉祥」で昼食会として開き、男10人、女3人の13人が出席した。

今回は山良眞作君と寺川和子さんが幹事を務め、総会で4期全体の同窓会についても話し合い、継続を決めた。また、次回幹事には石橋英夫君と高浪克子さんが決まり、26年春

に開催することになった。引き続いての昼食会は38階から東京の町並みを眺めながら酒を酌み交わし、時間の経つのも忘れて話の輪が広まった。関東地区同期会の様子が同窓会の会報「一泉」に紹介されたことが無かったので金沢から参加の私・酒井浩が筆を執り同窓会本部に紹介した。（酒井浩・記）

◆泉丘7期が喜寿を祝う同窓会

泉丘7期の喜寿を祝う同窓会が5月30日、粟津温泉の「のとや」一泊で行われた。2年ぶりの集いで関東、関西からも元気な顔が見られ58人の出席となった＝写真＝。



今回も広部欣也君が司会、この2年間に亡くなった20人の級友に黙祷を捧げ、私・加茂正則が歓迎のあいさつを述べ、続いて北村喜久雄、吉田紀幸、和田英夫、綿野効の4君が揃って謡曲「高砂」を披露、金川琢雄君の乾杯の音頭で酒宴に入った。

いつものように思い出話や近況報告で和やかに会が進み、平松道彦、藤田実、村上喜久男の3君が応援団旗を振ってリードする中で応援歌、校歌を大合唱、2年後の傘寿同窓会にも参加することを約して一次会を終えた。

場所を変えての二次会にも全員が参加、米外喜彦君が改めてあいさつしてカラオケなどで盛り上がった。途中、楽しい抽選会もあって深夜までにぎわった。（加茂正則・記）

税理士法人AC

公認会計士・税理士 横田 雅裕 (泉丘30期)

公認会計士・税理士 橋場 紀之 (泉丘43期)

税理士 横田 泰子 (泉丘33期)

〒920-0947 金沢市笠舞本町1-1-14
TEL (076) 236-2600

中村茂和税理士事務所

税理士 中村 茂和 (泉丘32期)

〒920-0862 金沢市芳青2-9-2
TEL (076) 263-0754 FAX (076) 263-0583
E-mail nakamura-shigekazu@tkcuf.or.jp

高柳満税理士事務所

税理士 高柳 満 (泉丘34期)

〒920-0811 金沢市小坂町西77-4
TEL (076) 251-3431 FAX (076) 251-3809
E-mail info@takayanagi.zei-mu.com



◆関東八泉会、2年連続で開催

泉丘8期の関東地区同窓会「関東八泉会」が4月2日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷「白山の間」で26人（男子22人、女子4人）＝写真＝が出席して開かれた。昨年に続く開催で、金沢から福田太睦八泉会代表幹事も出席していつもの顔が揃った。

定刻の午後0時半、荒木二夫君の開会の辞に続き宮丸凱史会長があいさつ、鷺田巖君の司会で懇親の宴が進み、3時間近く楽しい時を過ごした。最後に岡田紘美副会長が「来年もみんな元気で集まりましょう」とあいさつして散会となった。（茶屋勝也・記）

◆関東泉丘9期が秋の同期会開く

関東泉丘9期の平成25年秋の同期会が11月29日正午から、東京・赤坂の中華料理「維新號」で開かれ、26人が出席した。金沢から参加の上丸満君のふるさと便りに聞き入り、富山から久しぶりに顔を見せた蒲田亮子さんからは、仙台で開かれたご詠歌の全国大会に富山県代表として出席、思い切り謡ってきたとの報告があった。

35年前、西島幸夫君と森井博君の偶然の出会いから始まった同期会は春、秋の2回の会合を重ねて70回以上となり、常に30人前後が出席する待ち遠しい会合と年齢となった。今回も、北陸新幹線に乗っての帰郷など話しが尽きぬ間に2時間半が経ち、二次会に移動して歓談した。（小倉捷良・記）

◆関西泉寿会が30周年記念同窓会

泉丘10期・関西泉寿会の設立30周年記念同窓会が6月10日、有馬温泉「かんぽの宿有馬」一泊で開かれ金沢、中部、関東からも出席があり30人が旧交を温めた。

馬場聡副会長が司会、私・板岡尚二会長が歓迎のあいさつをして記念写真を撮った＝写真＝。続いて吉村雅彦本部泉寿会会長、金子兵衛関東泉寿会会長が祝辞を述べ、鶴来紘一関西泉寿会の初代会長の乾杯の音頭で酒宴となった。歓談の合間に金子君のウクレレ伴奏で安原由紀子さんがフラダンスを披露、趣味や健康法などの話に花が咲いた。最後に河島和子さんのリードで校歌を斉唱して中締めとなったが、部屋に戻っての二次会は深夜まで続いた。翌日は温泉街を散策、宿に戻っての昼食会の後、散会した。（板岡尚二・記）



◆関東泉寿会も発足30周年記念の新年会

泉丘10期・関東泉寿会恒例の26年度新年会が1月26日午後、東京・JR四谷駅前の「主婦会館プラザ」で開かれた。今年は会の発足30周年で金沢から吉村雅彦泉寿会会長ら5人、関西から板岡尚司会長、名古屋から飯倉和男君が出席、総勢38人の集まりとなった。

関東の金子兵衛会長のあいさつで開宴、安原由紀子さんのフラ、森礼子さんの新舞踊が華を添えた。二次会はカラオケ大会となり、再度盛り上がった。記念の会名入り木札ストラップが全員に贈られた。（大谷孝弘・記）

氷見司法書士事務所

司法書士 氷見 勇人（泉丘36期）

〒921-8011 金沢市入江2-54
中村ビル4階
TEL (076) 292-1516
FAX (076) 292-3868

稲村税理士・社労士事務所

税理士 稲村 太（泉丘37期）
社会保険労務士

〒920-1165 金沢市若松町2-86
TEL (076) 256-5955 FAX (076) 256-5956
http://iina-zeirishi.tkcfnf.com
e-mail: iina-zeirishi@tkcnf.or.jp

坂上裕宣税理士事務所 (有)坂上ビジネスサービス

税理士 坂上 裕宣（泉丘37期）
代表取締役

〒924-0882 石川県白山市ハッ矢町655
TEL (076) 276-3355(代) FAX (076) 275-2508
E-mail sakagami@k7.dion.ne.jp
URL http://sakagamikaikai3355.tkcfnf.com

◆泉丘14期の古希の集いに122人参加

泉丘14期の「古希の集い in kanazawa」が体育の日の10月14日、金沢市の料亭「つば甚」で開かれ、全国から集まった122人が久しぶりの再会と互いの元気を喜び合った。

「集い」は級友・真田幸香さんと仲間たち5人による琴と尺八の優雅な調べで幕を開けた。最初に総会が開かれ、7年後に大々的な喜寿の集いの開催とその幹事などを決めた。

続いて西茶屋街の芸妓11人が素囃子「操り三番叟」を披露して懇親会に入り、蚊谷八郎会長が歓迎のあいさつを述べ＝写真＝、検見崎俊行関東代表の乾杯の音頭でにぎやかな酒宴となった。歓談の合間に芸妓衆とのお座敷太鼓を楽しんだりしてあっという間に2時間半が過ぎ校歌斉唱の後、吉田邦男関西代表が中締めあいさつをし「7年後まで元気でいよう」と誓い合って会場をあとにした。

二次会は片町のパブで行われ、ほとんどが参加して金沢の夜を満喫した。この日の午後には約50人が参加して母校見学会が行われ、



関東や関西在住者が5階建ての新校舎からの眺めを懐かしんだ。

また、12月14日には恒例の忘年会が主計町の鍋割烹「みふく」で29人が参加して開かれ、

明けて2月14日には東山の「ちょう吉」で新年会が開かれ、21人が顔を見せた。いずれの会場でも古希の集いの思い出が話題を集めた。

◆泉丘15期が卒業50周年同窓会

泉丘15期の卒業50周年記念同窓会が8月16日、金沢駅前のホテル金沢で開かれた。昭和38年卒業の我々は524人の級友がいたが、既に50人が死去、約60人が消息不明となっている。同窓会は8年ぶりの開催で、65人が出席して旧交を温めた＝写真＝。



開宴に先立ち藪俊彦君が仕舞の「高砂」を披露、続いて校歌を斉唱、中村進代表幹事が歓迎のあいさつをした。乾杯の音頭は一番遠い鳥取市から駆け付けた宮本勝治君が取って、にぎやかな酒宴が始まった。席は31ホームからのクラス順だったがいつしかテーブルを梯子して回り、1年次、2年次の仲間とも思い出を語り合い、予定の2時間がアツと言う間に過ぎた。最後は元応援団長の羽野和夫君のリードで音弘志君と私・草野輝久が旗を振って高らかに応援歌を歌い、さらに当日幹事の私・草野が次回同窓会を3年後に開くことを宣言、各人の健勝と母校のさらなる発展を祈念して一本締めで一次会を終えた。

その後、ホテル16階のラズベリーで二次会を行い、約50人が参加して再度盛り上がった。呑み足らなくて三次会組もいたようだ。

(草野輝久・記)

山内会計事務所

税理士 山内 司 (泉丘37期)

〒920-0993 金沢市下本多町6-40-1

TEL (076) 263-1490

平野 税理士法人

税理士 浅井 真喜 (泉丘38期)

税理士 芦原 智子 (泉丘43期)

〒920-8203 金沢市鞍月4-133

KCビル6F

TEL (076) 268-6575 FAX (076) 268-6610

中村孝治税理士事務所

税理士 中村 孝治 (泉丘39期)

〒920-8218 金沢市直江北1-180

TEL 090-6275-5654

E-mail markkoji@project-k.biz



◆泉丘16期も卒業50周年同窓会

泉丘16期の卒業50周年記念同窓会が8月17日、金沢駅前の金沢都ホテルで開かれた。ご健在恩師の楠禎一郎、高橋健、普神貴行、安田進一郎、安高徹、氷田清風の6先生と同期生138人の総勢144人の大同窓会となった。

1～5ホーム、6～10ホームの2班に分かれて記念写真を撮り＝写真上2枚＝、懇親会会場に入ると魚住隆彰君がDVDにまとめた「昭和38年・3年次の思い出ニュース」が放映された。史上最大の38豪雪、津幡町の集中豪雨や高校相撲金沢大会での能上（水本）宏君の個人優勝、高校野球県大会優勝での甲子園出場と数々の思い出映像が映し出され、拍手と歓声に包まれた。

懇親会の司会は名調子の照田繁隆君。広瀬靖久代表幹事の開会のあいさつの後、42人の物故者に黙祷を捧げた。続いて恩師を代表して楠先生があいさつ、乾杯の音頭は陸上部で名をはせた油野利博君が行って酒宴となった。中央ステージには当時の校門が造られ、壁面には各人から提供された高校時代の秘蔵写真が展示され話題を盛り上げた。

予定した2時間余りがアツと言う間に過ぎ、

甲子園で活躍した応援団員の旗振りで応援歌と校歌を大合唱、私・山本武生の閉会のあいさつで再会を誓って散会した。

またこの日の午後、母校見学会が行われ54人が参加した。講堂では練習中だったブラスバンド部が校歌を演奏してくれて一緒に校歌を歌って感激した。（山本武生・記）

◆恩師2人迎え70人で「おはこ会」

平成25年度の「おはこ会」が4月28日、会員68人と楠禎一郎、安高徹両先生をお迎えしてガーデンホテル金沢で盛大に開催された＝写真＝。

いつものようにこの1年の物故会員に黙祷を捧げて始まったが、今年は代表幹事の私・宮村秋生にとってショックだった。小学校以来の友人の荒屋正年君が4日前の4月24日朝、急性心不全で逝ってしまったのだ。ハイアットリージェンシーホテル（東京・新宿）の社長として現役のままの旅立ちだった。



おはこ会当日、青山葬儀所での葬儀に参列してとんぼ帰りでガーデンホテルに駆け付けたものの、開会のあいさつは情緒不安定で支離滅裂、何を話したか定かでないが「来年まで皆元気でいよう。死んではだめだ」と言ったことだけは覚えている。次回こそ黙祷対象者に新規加入者が居ないことを祈るばかりだ。

（宮村秋生・記）

かわした税理士事務所

税理士 川下 英和（泉丘40期）

〒921-8842 野々市市徳用町98街区11番地
TEL (076) 256-2393 FAX (076) 256-2394
E-mail kawashita44@poem.ocn.ne.jp

中屋司法書士事務所

司法書士 中屋 薫美（泉丘41期）

〒921-8013 金沢市新神田4-4-15 木村ビル201
TEL (076) 291-7371 FAX (076) 291-7372
E-mail nakayashihoshoshi@yahoo.co.jp

前田司法書士事務所

司法書士 前田 航（泉丘42期）

事務所 〒921-8163 金沢市横川2-19
TEL (076) 243-2185 FAX (076) 243-2186
E-mail mae-co.5623@kch.biglobe.ne.jp

◆関東おはこ会総会に43人集う

第6回関東おはこ会（泉丘18期）の総会・親睦会が6月15日、東京・新宿のハイアトリージェンシー東京で43人が出席して開かれ、旧交を温めた。

総会は長元正春会長のあいさつで始まり、役員改選では長元会長を再選、副会長に中村祐君、会計に新村喜弘君と小関彩子さん、会計監査に山岸茂夫君、事務局長に私・深田進、同代理に原俊道君を選出、金沢から出席の新村康二君があいさつをして総会を終えた。

親睦会では物故者へ黙祷を捧げ、今春急逝した当ホテルの荒屋正年前社長と老田知栄子さんへの追悼の言葉を林隆太君と田川久美さんが述べた。続いて金沢の鈴森庸雄次期おはこ会代表幹事が、「来年4月の金沢の会にもぜひ出席を」と呼びかけて酒宴に入った。

体験談やマジックショー、バイオリンとギターの協演などがあり、校歌を合唱、中村副会長の中締めで一旦閉会した。

同じ会場での二次会は岡田秀樹君の相撲甚句で始まり、楽しさいっぱいのカラオケ大会となった。関東圏外の後藤忠則君と松田美津子さんによる一本締めで2年後の再会を約し、名残を惜しみながら散会した。（深田 進・記）

◆泉丘33期が結束固めの新年会

泉丘33期の平成26年新年同窓会が1月3日、金沢スカイホテルで開かれ40人が集った＝写



1月12日、京 北島花歩さん 釜親紘平君
都の三十三間堂
で行われた通し
矢で京大農学部
の北島花歩さん



（泉丘64期、弓道部出身）が、成人女子の

トビックス 三十三間堂の通し矢 北島さん、釜親君が3位

部で3位に入賞した。全国から初段以上の723人が出場、60メートル先の直径1メートルの的に2射、2本とも命中した人が決勝に進める。成人女子の決勝進出者は7人だった。

平成25年は成年男子の部で阪大工学部の釜親紘平君（同63期、同）が同じく3位に入賞した。

真＝。今年は秋の一泉同窓会総会・懇親会運営の幹事期であり、今井朋人実行委員長が「本番に向けて仲間をさらに増やし、大いに楽しみながら会を成功させよう」と決意表明して協力を呼びかけた。続いて東京から帰省して参加、この日51歳の誕生日を迎えた泉和宏君の乾杯の音頭で、宴会となった。

恒例の「全員ひとこと近況報告」の後、私・植村が昨年の創立120周年記念パーティの幹事を務めた32期から引き継いだ運営の注意点などを報告、さらに、2年前に関東一泉同窓会の代表幹事を務めた中嶋敦史君からも「先輩諸氏から33期の力量を問われかねないからみんなで知恵を出し合おう」と檄が飛び、10月15日に向け士気が高まった。

二次会にもほとんどが参加、高校時代の思い出話にも花が咲き、遅くまで楽しい時間を過した。（植村まゆみ・記）

釜谷華 税理士事務所

税理士 釜谷 華（泉丘43期）

〒921-8813 野々市市住吉町26-22
TEL (076) 294-6410 FAX (076) 294-6422
E-mail kamatani_zei@yahoo.co.jp

中村敦夫税理士事務所

税理士 中村 敦夫（泉丘44期）

〒929-0224 白山市美川中町ル17
TEL (076) 278-5246 FAX (020) 4666-6565
E-mail nakamura@ta-support.com

税理士法人サクセスブレイン

社員 村上 博丈（泉丘44期）
税理士

〒920-0364
金沢市松島2-191 COMビル
TEL (076) 269-8653 FAX (076) 269-8654
E-mail murakami@success.co.jp

◆泉丘34期が初の同窓会で絆深める

泉丘34期の初めての同窓会が8月11日、金沢エクセル東急ホテルで行われ、全国各地から旧盆を利用して帰省した級友91人が参加、卒業以来の再会を懐かしんだ。

34期は今秋の関東一泉同窓会と2年後に一泉同窓会全体の創立122周年記念同窓会の幹事を担うことになっている。そのため同期の絆を深め、一致団結して2大イベントの成功をめざすことにした。

当日は恩師の新村健了先生も顔を見せられ、織田兼太朗実行委員会副委員長の司会で幕を開けた。まず物故者に黙祷を捧げた。ついで私・至極が実行委員会の発足について説明、二つの同窓会運営に協力を呼びかけた。

安田克芳君と浦田晴夫君による乾杯の音頭で、輪が耐えない盛大な祝宴となった。卒業アルバム内の集合写真投影中、32ホームの写真にクラス外の同級生が写っているのを31年ぶりに発見、大笑いと

なった。新村先生からは気遣い、心遣いの大切さと一泉同窓会の総会・懇親会の運営に向けての激励の言葉をいただき、合唱部の上山優君の指揮で校歌を斉唱、応援団の内田滋一君がエールと中締めあいさつ、最後に加茂谷慎治君のカメラで全員の記念写真を撮った＝写真＝。今回参加できなかった方からも懐かしいメッセージが沢山届き、団結と再会を誓って閉会した。

その後も分かれがたく二次会には63人が参加、三次会、四次会と朝まで組も多かった。高校卒業から30年余り、それぞれの人生が、それぞれの笑顔につながり、全員が主役の同窓会だった。
(至極明子・記)



平成25年度の「一泉行列」が8月29日、一中本多町校舎跡地の金沢歌劇座前から泉野出町の泉丘高校までのコースで行われた。母校の第65回創立記念祭の前日祭に位置づけられた行列には現役生250人に交じってOB約60人が参加＝写真＝、猛暑で途中リタイアもあったが20人が清水義博一泉同窓会会長（泉丘22期）と共に母校までの4.5キロを完歩した。

歌劇座前での出発式には一中45期の石崎皓三さん（93歳）も顔を見せてあいさつ、「昭和

行列で一中魂継承



12年、一中が本多町から現在地に新築移転した。私は5年生で厳霜碑と共に行進した。一中魂の泉丘への継承をしつかり市民、県民にアピールしてほしい」と激励した。今秋の創立120周年記念パーティを運営する泉丘32期の4人もプラカードを持って歩き、沿

道の同窓生たちにパーティへの参加を呼びかけた。

グラウンドで行われた到着式で清水会長は「120年の伝統を誇りに明日からの記念祭を立派に実施してほしい」とあいさつした。

新 家 税 務 会 計

税理士 新家利津子 (泉丘45期)

〒924-0022 白山市相木町626
TEL (076) 276-0041
FAX (076) 276-0042

江戸税理士事務所

税理士 江戸 則崇 (泉丘46期)

〒924-0805 白山市若宮2-100
TEL (076) 275-2578 FAX (076) 275-2514
E-mail edo@asagaotv.ne.jp

広島司法書士事務所

司法書士 広島 優樹 (泉丘46期)

〒921-8013 金沢市新神田4-8-1
TEL (076) 292-0505 FAX (076) 292-0507
E-mail y-hiroshima@ever.ocn.ne.jp

文化・運動部 OB 会だより

泉泳会総会 石田会長ら役員留任

一中・泉丘の水泳部 OB 会・泉泳会の第19回総会・懇親会が8月10日、金沢駅前のガーデンホテル金沢で開かれた。隔年開催で20人が出席、母校水泳部への支援などを申し合わせた。

林隆信さん(泉丘22期)が司会、役員改選では石田憲二会長(同18期)ら全員が留任、懇親会に入った。石田会長は「現役生支援のためにも総会参加者を増やし、会を盛り上げていこう」とあいさつ、ローマ五輪200メートル平泳ぎの銀メダリスト・大崎剛彦さん(同9期)と県議の紐野義昭さん(同26期)が祝辞を述べた。酒宴では全員が近況報告を行ってにぎやかなひと時を過ごした。

母校のプールサイドでも同窓会

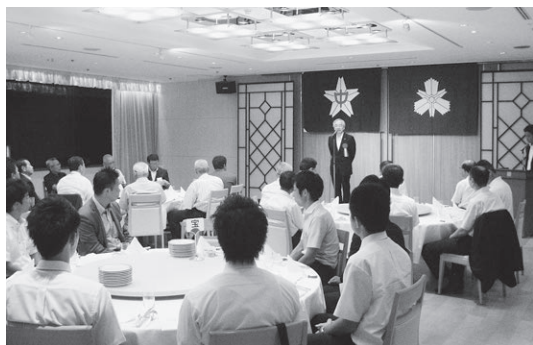
また、この日午後から10人が参加して母校のプールでプールサイド同窓会が開かれ、それぞれが高校時代に帰ったように泳ぎを楽しんだ。途中、日本水泳連盟の練士資格を有する百万石日泳会会員の西川義正さん(同9期)が横泳ぎ、平泳ぎなどの模範泳法を披露、喝采をあげた。(宮西外志男＝泉丘9期・記)

母校への支援を誓う

野球部 OB 会も総会

一泉野球部 OB 会の第16回総会が8月20日、金沢エクセルホテル東急で会員36人が出席して開かれた。

はじめに物故者の冥福を祈って黙祷を捧げた。総会では宮地治会長(泉丘23期)が議長



に就き、平成24年度の事業と決算を報告、25年度の事業計画と予算案が承認された。また、今年は第46回金沢地区高校野球OB大会の幹事校だったため、会員多数の協力のもとで大会を運営し、戦績も準決勝まで進んだことを報告した。

引き続いて懇親会では宮地会長があいさつ、来賓の新屋長二郎泉丘高校長が祝辞を述べ＝写真左下＝、北本正伸野球部監督(同42期)から夏の甲子園大会県予選など野球部の戦績や近況報告があり、中尾治郎副会長(同17期)の発声で乾杯して酒宴に入った。

今年は20代、30代の若手会員も多数出席し、幅広い世代での会員交流を深めた。母校の久しぶりの甲子園出場に向け、支援の輪を広げることを誓い、全員で校歌を斉唱、高田直人副会長(同28期)の閉会のあいさつで散会した。(谷端時宗＝泉丘43期・記)

剣友会の鈴森会長ら
卒業部員に名札を贈る

剣道部 OB・一泉剣友会の鈴森庸雄会長(泉丘18期)、近藤繁彦副会長(同23期)、小林真同(同27期)、本保義浩幹事長(同30期)の4人が卒業式が行われた3月4日午後、母校の道場を訪れて晴れてOB会員となった男子6人と女子1人に名札(ゼッケン)を贈って卒業を祝った＝写真上＝。

名札は毎年、卒業する後輩に届けられているが、役員が揃って贈呈に来てお祝いするのは初めて。鈴森会長が一人ひとりに名札を手渡し、吉野裕貴主将が「この名札を誇りに今後の試合に使用して臨み、頑張ります」とお礼を述べた。

OB 講演会から

進路や生き方を学ぶ 5 先輩招き社会人と語る会

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩の話を聞き、今後の進路や生き方の参考にする25年度の「社会人と語る会」が11月2日、2年生の400人を対象に啓泉講堂で開かれた。

パネリストとして招かれたのは北陸電力手取電力部の今出学技師（泉丘43期）、平野豊税理士事務所の芦原智子税理士（同）、いぶき共同法律事務所の林桜子弁護士（同46期）、加賀建設の鶴山雄一常務（同51期）、金沢医療センター消化器科の矢野正明医師（同）の5人。コーディネーターは野村晶子教諭（同45期）が務めた。

5先輩は自己紹介に続いて①高校生活と進路選択②現在の仕事への誇り③後輩へのアドバイスについて経験談を述べ、生徒たちからの質問にも答えた＝写真＝。

苦手学科の克服の仕方については、プライドを捨て頭の良い人の力を借りるのが得策。ノートを借りたり教えてもらったり。そんな友達が出来れば一石二鳥。また、しっかり勉強すれば将来への選択肢が広がる。自分には出来ないとか向いてないと決



今出 学さん



芦原智子さん



林 桜子さん



鶴山雄一さん



矢野正明さん



野村晶子教諭



め付けるにはまだ早い。あと1年間、一生懸命に頑張れば必ず道は拓ける—と励ました。

台湾修学旅行で事前研修 泉丘29期の増山さんが講師

平成25年度の国際理解講演会が2月18日、母校の啓泉講堂で修学旅行の事前研修を兼ねて開かれた。講師は金沢市立ふるさと偉人館の増山仁学芸員（泉丘29期）＝写真＝で、今秋に修学旅行で訪台する1年生400人を前に「八田與一の果たした役割 台湾の歴史と少数民族」と題して講演した。



増山さんはまず台湾の風土、歴史、少数民族についてプロジェクターを使って説明、植民地化した日本は、台湾のインフラ整備に力を入れ産業の振興と生活改善を実施したと語った。

金沢一中11期卒の八田與一先輩の建設した烏山頭ダムもその一つで、堰堤長1273^{キロ}、高さ50^{メートル}、貯水量1億5千万^{トン}、給排水路総延長16,000^{キロ}とダムの規模だけでなく、学校や病院を配した烏山頭の町づくり、日本人と台湾人を差別しない人柄で、今でも「台湾の父」と尊敬されていると話した。

川原英税理士事務所

税理士 川原 英（泉丘47期）

〒921-8033 金沢市寺町1-6-31
TEL (076) 244-8822

加藤司法書士事務所

司法書士 行政書士 加藤 雅史（泉丘49期）

〒920-1167
金沢市もりの里2丁目224番地
TEL (076) 282-9806 FAX (076) 282-9807

ふくろ税理士事務所

税理士 袋 恵美子（泉丘50期）

〒920-0059 金沢市示野町西3
HKビル2F
TEL (076) 268-8730 FAX (076) 268-8809
E-mail e.fukuro-tax09@globe.ocn.ne.jp

母 校 だ よ り

建國中が泉丘高を初訪問
八田技師の縁で親睦深める

台湾・台北市の建國高級中学校の生徒らが平成25年4月23日、泉丘高校を訪れて授業体験や交流会で親睦を深めた。泉丘は3年前から、先輩の八田與一技師（一中11期）が建設した烏山頭ダム見学を柱とする台湾への修学旅行を行っており、技師の長男が建國校の前身の旧制台北一中に通っていた縁で同校を訪れていた。建國校は初の金沢訪問で、両校の教員や生徒らは「これを機にさらに交流を深めたい」と固い握手を交わした。

台湾一の進学校・建國校は以前から日本訪問を行っており、今回は日本語を勉強している1～3年生80人が21日に来日、22日に金沢入りした。23日は午前9時過ぎ2台のバスで泉丘高校に到着、アーチ下では泉丘の合唱部が建國校の校歌を歌って出迎えた。啓泉講堂で歓迎会が行われ、新屋長二郎校長と陳偉泓（チェンウェイホン）校長が互いに歓迎の言葉を述べて記念品を交換、建國校の紹介ビデオや生徒による歌とダンスのパフォーマンスが披露された＝写真＝。続く交流会



では生徒会長の桐谷武明君（2年）が「10月の訪問前に会えてうれしい」とあいさつ、生徒たちは一対一で会話を楽しみ、お土産を交換する姿も見られた。これに先立ちホームルームや授業にも参加した。

建國校の一行は午後から県立伝統産業工芸館や兼六園を見学、同日中に福井県に移動し、26日に帰国した。

一方、泉丘高校の2年生400人は10月1日から4日まで3泊4日の日程で台湾への修学旅行に出かけ、2日目に建國中学を訪れて熱烈歓迎を受け、再会を喜び合った。3日目には八田與一先輩が建設した烏山頭ダムを見学した。

トピックス

平成26年2月11日、台湾交通部観光局から泉丘高校に台湾観光貢献賞のトロフィーが贈られて来た＝写真＝。

同局が台湾観光界に貢献した国内外の企業、団体、個人を毎年表彰

4年連続修学旅行の泉丘に
台湾観光局から貢献賞

しており、泉丘高校は平成22年度から4年連続で訪台修学旅行を実施して、日台の文化交流促進に寄与していることが評価された。

クリスタル製トロフィーは高さ25センチで底幅10センチ、上部幅7.5センチの台形。早速、校長室に飾られた。

参加しませんか！ 4泊5日の台湾旅行！

八田與一技師（一中11期）の烏山頭ダム、磯田謙雄技師（一中18期）の白令圳見学

スケジュール①小松発一台北着 台北泊②台北市内・故宮博物院観光、九份観光 台北泊③新幹線で台中へ 白令圳見学、台南で烏山頭ダム・八田與一公園見学・観光 台南泊④台南市内、高尾市内見学 高尾泊⑤高尾より新幹線で桃園へ 台北発一小松着（食事・観光付の5日間）

出発日 平成26年11月23日（日）～27日（木）

旅行代金 99,800円（※燃料サーチャージ、空港税、渡航取扱手数料は別途必要）

お問い合わせは

旅行企画

観光庁長官登録旅行業第1099号

（〒921-8011 金沢市入江2-88）

実施

日本ツアーズシステム

TEL076-292-0055 担当／堂井

協力

一 泉 同 窓 会

（〒921-8517 金沢市泉野出町3-10-10）

TEL076-242-0211



25年度一泉賞

坂下莉菜さん



河内あゆみさん



坂口智暉君



青井優樹君



熊谷亮祐君



— 4人と1団体に贈呈

平成25年度「一泉賞」が3月2日の通信制卒業式の席上1人に、同4日の全日制卒業式で3人と1団体に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆坂下莉菜さん 泉丘通信制に入学以来、全教科に優れた成績を修めた。2年次には常任委員、3年次には会長と生徒会活動にも積極的に参加し、中心的役割を担ってきた。石川県定通高校生活体験発表会では司会を務め、他のメンバーからの信頼も厚い。

◆河内あゆみさん 3年次に全国高校将棋選手権大会女子個人戦で5位に入賞。女子選抜大会にも2度出場、上位入賞を果たした。女子部員は1人だけだが男子とも積極的に対局・練習して全部員の棋力向上に貢献した。

温和な性格で、学業成績も優秀である。

◆坂口智暉君 2年次に全国高文連将棋新人大会福岡大会で個人戦5位。3年次には全国高校将棋選手権大会男子団体戦でも5位に入賞した。部員の棋力に貢献、3年次は個人戦でなく団体戦での出場を選択、後輩を引っ張って5位入賞の立役者となった。

◆青井優樹君 1年次から化学技術コンテストに積極的に挑戦、3年次に化学グランプリで銅賞に輝いた。科学の甲子園全国大会でも理数科チームの一員として活躍、同大会出場の原動力となった。教科の成績も優秀でバスケットボール部との両立を果たした。

◆文芸部代表・熊谷亮祐君 3年次に加藤桂翔君、佐南谷葉月さんと共に第16回松山「俳句甲子園」全国高校はいく選手権大会に出場、参加125校の中でベスト6に輝くと共に、個人賞でも入選や審査員特別賞を受賞した。大会には全国の名門校が名をそろえ、NHKの特番が組まれるので、泉丘の名を全国に知らしめるのに大いに役立った。

柔道部が部旗を新調

母校の柔道部に1月24日、新調した部旗が届き、部員が大会に向け闘志をみなぎらせた＝写真＝。部旗には柔道部OBの山野之義金沢市長（32期）が書き上げた「高致（こうち）」の文字が記された。

部旗は縦1.2メートル、横1.8メートルの綿製で、色はスクールカラーの緑。「到達しうる最高のところ」を意味する「高致」文字と、校章や校名がデザインされた。以前の旗は30年以上使って古くなり、保護者の寄付で新調した。

1年の小山泰輔選手が60キログラム級で優勝

春の全国切符をかけた第36回全国高校柔道選手権石川県大会は翌25、26日、金沢市の県



立武道館で開かれ、吉野貴史主将（2年）の「志を新たに全員で勝利をつかむ」との意気込みで、新しい部旗を掲げ

て大会に臨んだ泉丘は、個人60キログラム級で1年の小山泰輔選手＝写真丸＝が優勝した。母校柔道部の全国大会出場は12年ぶりの快挙である。



平成25年度一泉文庫寄贈・購入本

書 名	著 者	購入・寄贈者
珠玉の鳥	北橋 晃 (泉丘13期)	寄贈・北橋 晃 (泉丘13期)
アクタス4月号 (東大入試速報)	北國新聞社	購入
美味な干し柿生産とその事例	林 節男 (泉丘18期)	寄贈・林 節男 (泉丘18期)
詩・エッセイ がっば石	高橋 協子 (泉丘8期)	寄贈・高橋 協子 (泉丘8期)
新美南吉童話の読み方	西田谷 洋 (泉丘37期)	寄贈・西田谷 洋 (泉丘37期)
「朱木」東京版8号	金沢一中54期・朱木会東京支部	寄贈・金沢一中54期
裁錦會詩集VI	糸多宗人 (一中54期) ほか	寄贈・糸多宗人 (一中54期)
石川県松任の青木家が生んだ偉才 岡本桂次郎ー日本と朝鮮に電信・電話・電気・鉄道を敷いた男	発行・(株)クスのアオキ	寄贈・青木桂生 (泉丘13期)
ブラジルの大和戦士 ある技術移民の人生	下川 興 (泉丘12期)	寄贈・下川憲史 (泉丘6期)
週刊エコノミスト (2013・10・15号) 名門高校の校風と人脈64・金沢泉丘高校	猪熊建夫・ジャーナリスト	購入
ブッダの教えと生命ー自然・人間・自由ー	辻 久 (泉丘17期)	寄贈・辻 久 (泉丘17期)
一泉創立120周年記念美術展 2013	一泉桜美会図録編集委員会	寄贈・一泉桜美会
泉 鏡花 逝きし人の面影に	小林弘子 (泉丘12期)	寄贈・小林弘子 (泉丘12期)



通 信 制 だ よ り

2年ぶりの修学旅行、沖縄へ

2年ごとに行われている泉丘通信制の修学旅行は12月18日から20日まで、2泊3日の沖縄の旅を満喫した。1年生から4年生までの生徒36人と、上田孝教頭 (泉丘27期) ら教諭4人が引率した。

小松空港から出発した初日は、那覇市内でステーキディナーを楽しみ、2日目は嘉手納基地を見下ろす道の駅で休憩の後、琉球村を見学してソーキそば定食の昼食、美ら海水族

館へ。夕方は那覇市内に戻り、国際通りをグループごとに自主散策し、各自夕食の後バスでホテルへ。最終日は守礼の門で記念撮影＝写真＝、首里城公園、ひめゆり資料館を訪れて那覇空港から帰途に着いた。生徒の満足度も高く、有意義な旅行となった。

活躍する後輩たち

夏の高校野球 松田主将が選手宣誓

7月13日、県立野球場で開幕した第95回全国高校野球選手権石川県大会で、泉丘の松田拓真主将＝写真＝が選手宣誓した。



「国民栄誉賞を受けた松井秀喜さんなど多くの先輩が築き上げてきた大会の歴史と伝統を受け継ぎ、誇りを持ってプレーし、一生に一度のこの夏に全力で挑む」と力強く語った。

チームは1回戦で志賀に2－3、2回戦で羽咋工に0－3で勝利したが、3回戦で桜丘に6－2で敗れた。



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 橋本確文堂

代表取締役社長 橋本 勝郎
(泉丘12期)

営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10

TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12

TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

印刷/事務機器・事務用品販売/WEB制作



株式会社 山越

http://www.kai-p.co.jp/

代表取締役社長 山越 昭雄 (泉丘11期)

■本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町ル70番1
TEL (076) 257-9101 (代) FAX (076) 257-9119
■東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番18号
TEL (03) 5413-7778 (代) FAX (03) 5413-7766

東大に9人、京大に15人合格(前期)

東大、京大など国公立大の前期入試合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に9人(現役4人)、京大に15人(同11人)が合格した。難関2大学の合格者数を他高校と比べると、金大附属(東大11人、京大4人)や富山県1位の富山中部(東大17人、京大6人)をやや上回った。

その他の有名国公立大では阪大20人、神大14人、名大9人、東北6人、北大、一橋、東京工大各5人とほぼ例年並みの合格者数だった。

また、金大には67人が合格、うち医学部医学科には17人(現役10人)。医学科全体の合格者(私大の金沢医科大4人を含む)は24人(同10人)だった。

高校総体で登山部が2連覇

25年度の石川県高校総体登山大会が5月30日から6月1日まで白山で行われ、泉丘チームが2連覇した。メンバーは西下遼介、奥田匠(以上2年)君と、石原健人、太田彰人君(以上1年)の4人。60キログラム以上の荷物を分けて担ぎ、タイムやマナー、気象、救急の知識や幕営、炊飯技術などを競う。



全国大会は8月2日から6日まで、大分県竹田市の直入総合運動公園を幕営基地に久住山、中岳、大船山コースで行われ、奥田君に代わって美濃剛志君(1年)が出場=写真=したが、46チーム中31位だった。

泉丘は9月19日から3日間、富山県の薬師岳で行われた県新人大会でも優勝した。

◆郷土部発表会で鉄道研が最優秀

県高校文化連盟郷土部の研究発表会が11月8日、金沢市の県文教会館で開かれ、泉丘の鉄道研究同好会が最優秀校に選ばれた。泉丘は北陸新幹線を取り上げ、校内アンケートも実施して新幹線への期待と不安をまとめた。

◆英語スピーチコン、諸野君が優勝

県高校生英語スピーチコンテストが1月26日、県文教会館で開かれ、泉丘1年の諸野雅君が優勝した。諸野君は偏見について「偏見をなくすより自分の強みにしよう」と訴えた。

◆ピアノの西谷さんに金沢市長賞

11月17日、県文教会館で開かれた金沢市音楽コンクールのピアノ部門で泉丘3年の西谷茉優さんが最高賞の金沢市長賞に選ばれた。

＜編集後記＞

「同窓会っていいものだなあ」と思うときが年に数回ある。特に10月15日の一泉同窓会総会・懇親会ではそう感じる。近年は800人以上が出席し、全員での校歌斉唱は一体感の感激で胸が熱くなる。

昨秋の創立120周年記念行事の一つ、「台湾4日間の旅」では参加者が小松空港で初めて顔を合わせた途端に「いいな、いいな」と強く感じた。同窓という絆で結ばれた利害関係なしの集り。八田與一先輩の偉業・烏山頭ダムを見に行くという同じ目的。ほとんどが初対面なのに旧知の仲のように会話が弾んだ。

旅を終えて小松空港での別れのとき、写真交換会の懇親会開催が決まって先ごろ笑顔の再会をした。その後も同窓会事務局に便りが届いている。「本当に楽しかった」「また企画してほしい」などなど。

OB経営の旅行会社は今秋、もう一度台湾旅行を実施する。八田先輩だけでなく磯田謙雄先輩(一中18期)の白令岬見学も加わるとか。出来ればもう一度参加したい。(N)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 浅香以都子(同10期)
小林弘子(同12期)

題字・高川義一(一中53期・泉丘2期)